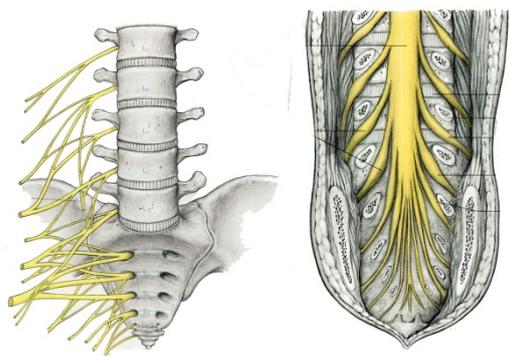


腰仙部の神経根の構造

腰の骨は、先ほど5つあると言いました。下のほうから順番に5, 4, 3, 2, 1, その上が、胸椎の12番目ということになります。1番目と2番目の間からでるのがL1ですね。L1というのは腰髄の神経の1番目, 第一腰髄神経といいます。2, 3, 4, 5, それから下は仙骨神経ということになり, S1, S2, S3, S4, S5というふうに分けています。いわゆる坐骨神経というのは, 坐骨神経というのが直接脊髄からでるのではなくて, L4, L5, それからS1の神経がまとまってきて, 坐骨神経と呼ばれる大きな神経になりますが。腰から臀部, 大腿の後面にかけてこれが痛みますと, 坐骨神経痛ということになります。後ろから見てみますと, こんな形をしていて, 左右に少しずつわかれて細っていくというような状態ですね。この一番下の状態を, 先ほど言ったように馬尾, 馬の尻尾というように呼んでいます。



前から見たところ

椎弓をとって
後から見たところ